



発行責任者
隠岐広域連立
隠岐病院長
隠岐の島町城北町



施設への周知
との対応
について
の協議
（受託）

医薬分業について

隠岐病院においては、厚生労働省の医薬分業の指導に基づき、平成十六年は八月に二日より「院外処方箋」を発行することになり、開始からすでに二ヶ月経過しました。病院として医薬分業について広域連合議会、島後四カ町村議会に説明を行なうと同時に「まめなかの」に掲載し、地域住民の皆様や患者様、関係機関にご理解を深めてまいりました。今回、医薬分業検討委員会を開催し、これまでの経過と問題点・課題点の対応について一定の整理を行いましたので報告します。

医薬分業開始までの経過

- ・ 広域連合議会での審議
- ・ 四カ町村議会への説明
- ・ 医薬分業検討委員会の開催
（委員会構成：医師会、薬剤師会、島根県、島後4カ町村、隠岐病院）
- ・ 町村広報誌への掲載依頼
（七月広報掲載）
- ・ 患者様向けパンフの配布
（七月二十日〜八月十五日、それ以降案内にパンフの常設）
- ・ 院内調整会議の開催（調剤薬局も出席、五回開催）

医薬分業開始以降の経過

- ・ 施設廻りによる協議
- ・ 職員への周知
- ・ 投薬調整（診療部において混乱を回避するため患者様への投薬調整）
- ・ 患者様への対応について職員の配置（八時から一名、八時三十分から二〜三名の対応）
- ・ 調剤薬局への訪問（業務の流れ等のチェック）
- ・ 薬剤師会及び調剤薬局との協議（四回開催、待ち時間対策等）
- ・ 院内調整会議の開催（病院内部における問題点、課題店についての協議、調整）
- ・ パンフレットの増刷



医薬分業によるよくなった点

- ・ 夜間救急時の対応（調剤薬局で薬剤師の電話当番制相談）
- ・ 薬の相談窓口の設置（調剤薬局対応）
- ・ 患者様の要望に沿った対応（複数の薬を一包化対応等）
- ・ 巡回診療患者への自宅配達（配達時間が課題）
- ・ 院外処方箋に対する調剤薬局からの疑義紹介等による副作用防止
- ・ （他の医療機関との投薬調整）
- ・ 調剤薬局における受付時間の延長
（病院は十七時十五分、スイング調剤薬局は十八時、ピア中央薬局は十九時）
- ・ 調剤薬局での残置薬の患者様への通知
（処方箋は出されているが、引取りにこられない方へ週末に電話にて通知）
- ・ 島外からの医薬分業対応（大阪、本土の医療機関からの処方箋対応）

問題点

隠岐病院

- ・ 窓口対応について(ピーク時は職員の臨戦体制で対応)
- ・ 障害患者様への対応(障害患者様へは案内業務での対応)
- ・ ファックス対応(患者様への周知、医事窓口で対応)
- ・ 小児領域への薬剤対応
- ・ 調剤薬局(患者様の苦情)
 - ・ 待ち時間が長い(現在平均十五分程度、薬の内容によつては一時間くらい)
 - ・ 一部での調剤薬局での在庫薬の不足(調剤薬局の変更)
 - ・ 巡回診療患者様への自宅配達(九時過ぎまでかかったこともあり院内で調整)
 - ・ 患者様からの苦情への対応(職員で苦情対応、公費負担等については関連機関と協議・調整)

局より
 医薬分業開始時点での待ち時間が長くなった理由：調剤薬局より

対策

- ・ お薬手帳の患者様への手渡し(年齢層が高いため、お薬提供の説明に時間がかかった)
- ・ 新規登録のため事務作業に時間がかかった
- ・ (病院、調剤薬局)
 - ・ 問題点の解決にむけた院内、調剤薬局との協議
 - ・ 待ち時間縮減に向けた業務改善(業務の流れの見直し)
 - ・ 苦情相談窓口の設置(院内、調剤薬局)
 - ・ 研修体制の充実(職員教育)

病院としての今後の課題

- ・ 駐車場の整備
- ・ タクシー駐機場
- ・ 雨、風対策

以上が医薬分業の現状です。病院としても薬剤師会、調剤薬局と協議を図りながら患者様の視点で、待ち時間をはじめとした諸課題の解決に向けて今後とも取り組んでまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

責任 副院長 米田

携帯電話の使用一部許可について

当院では、院内での携帯電話の使用は全面禁止となっております。しかし、緊急の連絡や、入院患者様ご家族の声を聞いたりメールで連絡を取るなどのメリットが大きいと考え、患者様のQOL(日常生活環境)に配慮して、問題の無い範囲内での左記場所での携帯電話の使用を許可いたします。

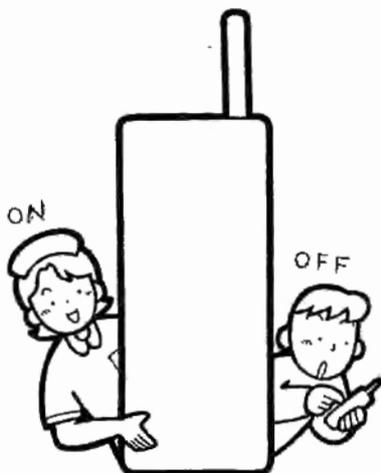
各階区分	使用許可場所
一階フロア	公衆電話前
二階病棟	ディールーム
三階病棟	ディールーム
四階病棟	ディールーム

(注)

① 病室での使用は禁止とさせていただきます。(但し、入院患者様の状態によつては各病棟師長が許可することがあります。お尋ね下さい。)

② 上記使用許可場所で医療機器(輸液ポンプ等)使用の患者様がおられる時は、使用を禁止いたしますのでご協力をお願いいたします。

携帯電話を使用される場合は、周りの患者様やご家族の方々のご迷惑とならないよう『マナー』を心掛けて下さい。



地域連携室のご案内

地域連携室（まだ皆様にはなじみのない名前ではありますが…）では、地域の方々のニーズにあった医療を提供するために努めています。

地域連携室
TEL 08512-2-1356
FAX 08512-2-6149
内線 181

以前の相談室
がリニューアル
しました！

○室長（院長） 笠木重人
○事務担当 吉田文子<地域連携係>
○保健師 横地明子<地域看護係>
○理学療法士 田平敏明(兼務)
 <地域リハビリテーション係>

地域連携室の業務

- ・ 病病・病診連携の窓口業務
- ・ 保健、医療、福祉各分野での地域との連携
- ・ 患者さまやご家族のための医療・福祉相談窓口
（高額医療、身体障害者手帳等）
- ・ 公費負担医療（精神、特定疾患等）に関する
相談及び申請
- ・ 老人性痴呆疾患センターの窓口業務
- ・ 人間ドック、健診業務
- ・ 訪問看護に関すること
- ・ 介護保険に関すること
- ・ 健康教室に関すること
- ・ 訪問リハビリに関すること

現在、事務職1名、保健師1名のスタッフではありますが、患者さまやご家族のために少しでもお役に立てるようがんばっています。よろしく、お願いします。

—講演会のお知らせ—

「痴呆の人とともに生きる」

痴呆症の人は「わからない」のではなく、コミュニケーションを持つことができないのである。痴呆症の人とコミュニケーションをどのように持つかについてお伝えし、痴呆を患っても笑顔で暮らせる町づくりについてお話しします。

講師 エスポアール出雲クリニック院長 高橋 幸男

日時 平成16年11月3日 13:30～

会場 隠岐の島町 ふれあいセンター

主催 老人性痴呆疾患センター（隠岐病院地域連携室内）、共催 隠岐の島町

予防が一番! インフルエンザ



小児用

接種希望の方の予約をお電話にて受付いたします。
(10月末まで)

インフルエンザ
ワクチンについて

当院小児科外来では下記日程にて「小児用インフルエンザワクチンの接種」を行います。



- 11月の予定
(11日・14日・16日・22日・30日)
 - 12月の予定
(9日・14日・21日・28日)
- 接種時間 14:00~15:00

接種料金 初回; 3,370円
2回目; 2,360円

大人の方の予防接種については改めてご案内いたします。

通常、2回接種(間隔は最低1~4週間)いたしますので、なるべく11月中に1回目の摂取をお済ませください。※10月~翌年1月までの間に他の予防接種を受けられる予定の方は予約時にお申しで願います。

予約の受付は…隠岐病院小児科まで(午後より)

異動

採用(十月より)

*森山 政司(産婦人科部長)
*宇野 恵子(看護師)

□□□□□□□□

あとがき



アテネオリンピック、アテネパラリンピックの日本人の活躍に大興奮しました。メダルをとる選手は言動も違いますね。「夢ある者は目標あり、目標ある者は計画あり、計画ある者は行動あり、行動ある者は成果あり、成果ある者は幸福あり」という言葉があるそうです。まさにメダリストはそうですね。秋の夜長、自分の夢は何なのか、もう一回じっくり考えたいと思います。

